## 5) ば ら (1) 耕種的防除法等

病害虫名	防除適期	防 除 方 法	備考
うどんこ病	生育中	○ 窒素肥料が過多にならないようにする。	○サプロール乳剤及びサンヨ ールは品種により高温乾燥 時に薬害を生じることがあ るので注意する。
枝 枯 病	休眠期 生育中	<ul><li>○ 発病枝は切り取り、適切に処分する。</li><li>○ 被害枝は抜き取り、適切に処分する。</li></ul>	
黒 星 病	休眠期 生育中	剪定時に病枝を剪除するとともに、被害葉も集めて、適切に処分する。 展葉中の若葉が侵されやすいので、萌芽期から枝の伸長 期を重点に降雨の前後に十分散布する。	
根頭がんし ゅ病	生育中	<ul><li>○ 無病苗を選んで植付ける。</li><li>○ 発病株は早めに抜き取り、適切に処分する。</li><li>○ 罹病株の根や枝を切り取った刃物は、熱湯で消毒する。</li></ul>	
さ び 病	休眠期 生育中	<ul><li>○ 剪定時に伝染源となる古い病患部を切り取る。</li><li>○ 発病枝葉は早めに切り取る。</li><li>○ 施設栽培では、夜間湿度が高すぎないよう注意する。</li></ul>	
灰色かび病	生育中	<ul><li>○ 施設栽培では、過湿にならないように管理する。</li><li>○ 被害枝、花は早めに取り除く。</li></ul>	
べと病	休眠期 生育中	<ul><li>○ 剪定時に病梢を切り取る。</li><li>○ 過湿にならないようにする。</li><li>○ 病葉や病梢は早めに切り除き、適切に処分する。</li></ul>	